

愛 致 における一

1. いそいひ
2. かのかと
3. にうにつ
4. うるうと

るわるな
わしわり
ししし
主そ主そ
にのの

あかこま
るぐどじ
もわもわ
のしらり
びさがに
ひナちあ
とルちま
つドのつ
とのおよ

な香しろう
り油えこ
てのにび
主かと主
をおもは
ばりにみ
ほにはた
むまげし
るさむた
はるはもう

見よ、兄弟が和合して共におるのは
いかに麗しく楽しいことであろう。
詩篇 133:1

5

信仰 ^{きぼう}希望 ^{もと}愛を基とし

一つとならば 力はあふれん。

6

われらすべては ひとつとなりて

^ゆ行くべき道 ^{みち}を ^{もと}ただ主 ^{もと}に求む。

7

ただ真 ^{まこと}もて ^{まこと}愛しあわずや

われらひとしく 主 ^{ゆる}に赦 ^{ゆる}されぬ。

8

父子御霊 ^{ちちこみたま}が ^{ひと}一つなるごと

われらも愛 ^{むす}に 結 ^{むす}ばれてあらん。

9

洗礼 ^{せんれい}により 水 ^{みづ}と血 ^ちと霊 ^{れい}

信 ^{しん}ぜし者 ^{もの}の 心 ^{こころ}に流 ^{なが}る。

10

われらおのおの 主 ^{みからだ}の御身体 ^{みからだ}の

肢 ^{あし}体 ^{たい}にあれば 共 ^{とも}に頼 ^{たよ}れり。

11

唯一 ^{ゆいつ}の主 ^まをば われら待ちわぶ

われら一人 ^{ひとり}の 花嫁 ^{はなよめ}なれば。

12

おおイエス君 ^{きみ}よ とく来 ^きたりませ！

なが御顔 ^{みかお}をば 拝 ^{はい}させたまえ。